

忍城開城後の甲斐姫

(会津若松・烏山・大阪城時代)

行田市民大学・行田市民大学同窓会 合同講演会

天正18年(1590年)6月、豊臣秀吉の小田原城征伐・石田三成の忍城攻めが断行されました。小田原城が7月5日に落城し、その10日後に成田氏長の命により、忍城も開城と相成り、成田氏は『お咎(とが)め無し』、『財産保障』、『蒲生氏郷預かり(会津若松城)』の秀吉、寛大な処置で会津時代を迎えることとなります。

その後、成田氏は下野の国「烏山城」の2万石の大名となり、甲斐姫においては開城の半年後、秀吉の側室として大阪城時代を送ることになりました。

甲斐姫、成田氏の末路は、そして大阪城大奥・東慶寺の謎の解明に迫ります。

三池純正先生は沢山の戦国武将の著書をはじめ、雑誌、人気TV番組出演等ご活躍の歴史研究家、作家でございます。

是非、先生の甲斐姫に寄せる思いをお楽しみ下さい。

- | | |
|------|---------------------------------------|
| 1 日時 | 平成31年1月17日(木) 13:30~15:30 (受付 13:00~) |
| 2 講師 | 三池 純正(みいけ よしまさ) 歴史研究家、作家 |
| 3 場所 | ものづくり大学建設棟 2階 B2080教室 |
| 4 受付 | 当日受付、 入場無料 |
| 5 対象 | 市民大学同窓生、在学生、ものづくり大学在学生、一般市民 |



成田氏 (忍城おもてなし甲冑隊HPより)



烏山城跡

問合せ先 行田市民大学 運営部

渡部政幸 090-7705-3565

行田市民大学同窓会 企画研修委員会

伊東洋一 090-6475-0353